

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホテルユニゾ京都烏丸御池新築工事	階数	地上10F、地下1F
建設地	京都市中京区堺町通押小路下る扇屋町659番、他4番	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	474 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 0.0	評価の実施日	2018年11月1日
敷地面積	1,063.24 m ²	作成者	静 茂夫
建築面積	729.05 m ²	確認日	2018年11月5日
延床面積	6,386.98 m ²	確認者	前田 幸宏



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.6

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合 ホテルという用途として、過度な性能を有した設備計画ではなく、お客様の満足が得られるレベルで必要最低限の性能を有した設備計画とし、無駄の少ない環境にやさしい建築物として計画する。		その他 特になし
Q1 室内環境 遮音性能の確保、空調換気設備の設置。 化学汚染物質を発生しない材料を使用。 客室窓には複層ガラスを使用。	Q2 サービス性能 事務室にOAフロアを採用。 各客室でのPC使用環境の確保。	Q3 室外環境(敷地内) 道路側に地域性を考慮したファサードを持つ工作物を設置。
LR1 エネルギー BPI _m =0.85	LR2 資源・マテリアル 主要な水栓には節水コマを採用。	LR3 敷地外環境 管理用駐車スペースの確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される